

授業概要

『十八史略』は十七の正史と宋代の史書一つのダイジェストであり、今でいう受験参考書のようなものである。日本でも初学の必読書として江戸時代の藩校や明治以後の小・中学校の教材として用いられていた。本講座は中でも有名な箇所を取り上げて精読し、その後に司馬遷『史記』の該当箇所とを読み比べる。正史である『史記』も物語的叙述が多く読みやすいものであるが、モンゴル人や初学者向けの『十八史略』との記述内容の違いを明らかにしつつ漢文のレトリックを講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンスー『十八史略』と『史記』についてー
第 2 回	臥薪嘗胆・会稽之恥ー越王勾踐世家ー
第 3 回	完璧ー廉頗藺相如列伝ー
第 4 回	鶏口牛後ー蘇秦列伝ー
第 5 回	刎頸の交わりー廉頗藺相如列伝ー
第 6 回	風蕭蕭として易水寒しー刺客列伝ー
第 7 回	奇貨居くべしー呂不韋列伝ー
第 8 回	鹿を馬と為すー秦始皇本紀ー
第 9 回	法三章ー高祖本紀ー
第 10 回	鴻門の会①ー項羽本紀ー
第 11 回	鴻門の会②ー項羽本紀ー
第 12 回	国土無双ー淮陰侯列伝ー
第 13 回	嫂を盗むー陳丞相世家ー
第 14 回	背水の陣ー淮陰侯列伝ー
第 15 回	四面楚歌ー項羽本紀ー
第 16 回	学期末試験

到達目標

『十八史略』の読解を通して、中国史の有名な事跡への理解・関心を深めることを目標とする。また、『史記』と表現の違いを比較することで、正史と野史の違いを確認する。

履修上の注意

授業は毎回配布するプリントを中心に行うため、授業中のメモや記録が必要となる。授業後にはリアクションペーパーの提出を課し、評価の対象とする。

予習・復習

授業後のリアクションペーパーでその回の講義内容を振り返ること。プリントはきちんと管理して学期末試験に備えること。

評価方法

学期末試験70%、受講態度やリアクションペーパーの内容30%

テキスト

毎回プリントを配布する。